

## ★今春の全国的な就職状況について

令和4年3月に高校を卒業した高校生について、文部科学省から令和3年の12月末現在の就職内定状況が発表されました。高校生の就職希望者、内定者数、内定率などの結果の概要を確認しましょう。

卒業予定者	998,751人	(前年1月 1,019,156人)
就職希望者	147,435人	(前年1月 161,052人)
うち就職内定者	134,727人	(前年1月 150,372人)
うち未内定者	12,708人	(前年1月 10,680人)
就職内定率	91.4%	(前年1月比 2.0ポイント減)



### 学科別（内定率が高い順）

工業 96.7%、商業 94.6%、農業 93.8%、水産 93.0%、情報 92.4%、看護 91.3%、福祉 91.2%、家庭 91.0%、総合 90.3%、普通 84.7%

（「令和4年3月高等学校卒業（予定）者の就職（内定）状況に関する調査」文部科学省）

厚生労働省が全国のハローワークを通じて就職活動の状況をまとめたところ、就職先が決まっている生徒の割合、就職内定率は昨年9月末の時点で約62%でした。一昨年度は新型コロナウイルスの影響で採用試験のスタートが10月16日と例年より1か月遅れたため単純に比較はできませんが、内定率を一昨年10月末時点と比較すると2.2ポイント低かったようです。12月末になると91.4%まで内定率が上がっていますが、それでも2.0ポイント減です。

今年度は世界情勢の不安もあるので先行きが不透明ですが、現在のところ各企業とも採用を控えるという話はほとんど聞いていません。ただし、採用試験の際には厳しく審査されることも考えられるので、しっかりと準備をしておくことが大切です。

## ★面接試験で失敗する人はどんな人？

今年も9月中旬から就職試験が行われる予定です。できることならば1回目の試験で合格したいものです。しかし、残念ながら毎年不合格になる人が出ます。以下に面接がうまくいかなかった理由の例を書いています。採用が見送りとなってしまふ人に共通する課題の中に、「自己理解ができていないこと」と「企業や仕事内容への理解が浅い傾向にあること」の2つがあることがわかつて思います。



企業からのフィードバックを読んで参考にしてください。

### ケース1 「志望動機・やりたいことが不明瞭」（IT企業）

企業からのフィードバック

「地元の大阪で働きたい、将来性がありそうだからIT企業を志望した、ということしか伝わってこなかった。当社で働きたいという意欲が伝わらなかった」

### ケース2 「本人の強みと仕事内容が合っていない」（インフラ機器メーカー・総合職）

企業からのフィードバック

「勉強熱心で一人で真面目に努力する力はあるようだが、当社の総合職は顧客折衝の多い仕事なので、本人が仕事に強いストレスを感じてしまいそう」

### ケース3 「タイプと社風が合わない」（専門商社・営業職）

企業からのフィードバック

「おとなしく、マイペースな印象を受けた。当社はスピード感があって、元気ハツラツとした雰囲気なので、社風と合わないように感じた。本人にとっても、入社後つらくなってしまうのではという懸念がある」

（リクナビ就職ジャーナル「就活ぶっちゃけ相談」から抜粋）

希望する企業についてしっかりと調べておくことは当然ですが、自分にはどんな仕事に向いているのかということを担当の先生や各系の先生、または保護者とよく話し合うことが大切です。

## ★高卒の就職希望者が求められるもの

東洋経済オンラインの記事に次のようなことが書かれていました。皆さんの高校生活に役立つ内容だと思うので紹介します。

日本経団連が調査した「企業が社員採用時に求める資質」によると、2004年から今日まで16年連続で「コミュニケーション能力」が第1位です。複数回答の上位5位までで、近年8割以上の企業がコミュ力を求めています。しかし、コミュニケーションは挨拶・会議・商談・プレゼンテーション・トラブル対応・報告書作成などさまざまで、「コミュニケーション能力」といっても漠然としています。多くの企業が採用で就活生に求めることを詳しくは開示しておらず、就活生は対応に苦慮しています。

### ・「コミュカ」の内容とポイント

就職試験の時期になると3年生は面接試験の練習をしますが、「あなたが高校時代にもっとも身に付けたことは何ですか」の問に対して、「コミュニケーション能力」と答える人が多いようです。ではこの「コミュニケーション能力」とは一体どういうものなのでしょう。記事には次のようなこともありました。

17社にコミュカの内容とポイントについて尋ねました。記述式なので多様な回答がありましたが、エッセンスをまとめると断然多かったのは、以下の2つでした。

質問3: 重視している「コミュニケーション力」の内容・ポイントを教えてください(複数回答可)。

他者と関係を構築する能力: 11社

自分の考えをロジカルに説明する能力: 10社

「営業はもちろんですが、SEや法務といった職種でも、社内外の関係者との関係づくりが欠かせません。実績を上げているSEを見ると、ITの知識は当然として、顧客に適切な質問をして要求を把握し、他のメンバーと協力して仕事を進めています」(IT企業)

「コミュカというより思考力の問題かもしれませんが、状況を深く観察し、自分なりのロジックを構築し、それをわかりやすく伝える能力を重視しています。面接で表面的な受け答えはできても、少し突っ込んで「なぜ」と聞くと詰まってしまう学生が多いので、しっかり見えています」(商社)



「社内外の関係者との関係づくり」という部分がポイントではないかと思われます。皆さんは適切な人間関係を構築できていますか？自分の身近な家族や友人だけでなく、先生方や部活動の保護者、または初対面の人に対してきちんと話ができますか？黙って立っままで相手から声をかけてもらうのを待っていませんか？



また、「思考力」「状況を深く観察」「わかりやすく伝える」という表現を見ると、普段から言動に気を付ける必要があることに気付くはず（まさに「思考・判断・表現」）。授業や部活動の練習の中でも必要な能力であり、しっかりと考えることの大切さが分かりますね。

## ★大学のおもしろ研究

進学希望の人たちは大学や短大に進んでどのような研究に携わりたいですか。大学では高校と違って自分で研究テーマを決めなければなりません（当然、教授などに相談はしますが…）。どんな大学に進学するか決まらずに悩んでいる人がいたら、その大学の研究内容を調べるといいかもしれません。一例を紹介します。

東北大学 農学部 都築 毅 准教授

さまざまな年代の和食を比較して、どの年代の和食が健康効果が高いかを研究しています。その結果、1975年型の食事が現代食に比べて健康維持効果が高いことが明らかになりました。また、和食の健康機能について研究を行い、健康長寿食の開発や未病改善サプリメント開発を行ったりしているようです。

琉球大学、基礎生物学研究所などからなる研究チーム

琉球列島には、シロアリが栽培するキノコが生息しています。このキノコについて種類を特定したというものです。オオシロアリタケは人間にとっても食用になる美味なキノコとして知られるため、その生活の仕組みが明らかになれば、将来的に栽培につながる可能性もあるようです。

興味のある人は各大学のHPなどを調べてみましょう。